

令和8年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
子どもと健康				講義		宮原千秋	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2	1	15	8	前期	幼免：選択必修	保育士：選択	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う領域「健康」のねらいと内容を理解し、指導のための基盤となる知識や技能を身につける。その中で、乳幼児期には発達上の様々な面で大人とは違った特徴や意義があることを十分に習得し、実際の保育場面における指導にもそれを関連づけて活かしていけるよう理解を深める。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>モデルカリキュラム「幼児と健康」の4つの一般目標を基軸とした内容を、主に講義形式ですすめるほか、フィールドワークやディスカッションを採り入れたり、ICTを活用したりすることにより、幅広い視野から子どもの健康についてとらえられるような授業構成とする。授業後には必ずまとめのノートの提出を求める。</p>							
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>意欲的に取り組み理解を深める。</p>							
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領解説(平成30年文部科学省 フレーベル館) ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館) ・保育所保育指針解説(平成30年厚生労働省 フレーベル館) 				<p>[評価基準]</p> <p>授業態度80%、提出物20%</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	領域「健康」のねらい			健康の定義と乳幼児期の健康の意義			
2	幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成			乳幼児期の身体・生理的機能の発達および運動発達			
3	〃			基本的な生活習慣の形成とその意義			
4	安全な生活と病気の予防			幼児期の安全教育と健康管理について			
5	〃			幼児期の事故や怪我の特徴及び応急処置の基礎、病気の予防に関する基礎知識			
6	乳幼児期の運動発達と身体活動			乳幼児期の運動発達、日常生活における運動			
7	〃			遊びのなかの運動			
8	まとめ			まとめと補足、意見交換、試験			
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							